

令和5(2023)年度 一般会計当初予算案 9,786億円

ふるさととちぎ いちご王国 進化予算



予算概要

- ・予算規模 9,786億円 (令4当初比 ▲3.0%、▲300億円 2年連続減)
- ・歳入 県税2,640億円 (+3.1%)、地方交付税1,445億円 (+2.8%)、県債706億円 (▲21.0% (うち臨時財政対策債110億円 ▲54.2%))
- ・歳出 投資的経費1,406億60百万円 (▲0.6%)、消費的経費8,379億40百万円 (▲3.4%) *財源不足額85億33百万円
- ・令5末県債残高 1兆1,668億38百万円 (令4末比 ▲202億78百万円)、うち臨時財政対策債を除く残高 6,800億36百万円 (+132億5百万円)

*財源不足額85億33百万円へは県債管理基金を取り崩して対応

栃木県誕生から150年の大きな節目である令和5年は、国内初となるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が本県で開催され、ふるさと“とちぎ”を改めて見つめ直し、本県の魅力を国内外に発信する好機である。そして、とちぎ国体・とちぎ大会を終え、県の組織を新たな課題に対応する体制に改編し、コロナ禍を乗り越え、「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」を目指し、スポーツによる地域の活性化、DX、CNなどを積極的に推進し、いちご王国とちぎの進化につなげていく。

【主な施策】

栃木県誕生150年記念関連事業

記念式典、若者未来デザインフォーラムなど年間を通じ多彩な関連事業を展開

G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合関連事業

大臣会合の開催支援、魅力発信、機運醸成、記念シンポジウム開催

政策経営基本方針重点事項の積極的な展開

- 1 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシー等の未来への継承
スポーツコミッション設立/大規模スポーツ大会・スポーツ合宿誘致/いちご一会とちぎ大会記念大会開催/障害者スポーツ参加機会拡大/地域に根ざしたスポーツ創出支援/レガシー基金創設
- 2 若者、女性に選ばれる“魅力あるとちぎ”づくり
女性に魅力ある雇用・産業創出事業戦略策定/女性のデジタルスキル習得支援/スタートアップ企業創出支援/結婚応援企業開拓・企業間交流会開催/こども医療費助成対象拡充
- 3 新型コロナウイルス感染症の克服とポストコロナにおける本県産業の競争力強化
医療提供体制整備/ワクチン接種体制整備/生活困窮者自立相談支援/海外観光誘客拠点設置/産業活性化金融対策(原油・原材料高騰等緊急対策資金、伴走支援型特別融資)/マーケットインの新たな米づくり
- 4 DXやCNの実現に向けた取組の推進
DX推進(県立学校、農業・林業、インフラ整備関連、交通捜査)/市町DX支援/太陽光発電設備導入・住宅ゼロエネルギー化促進/革新的な脱炭素化技術開発支援/「樹木パートナー」からの寄附をCN事業に活用

未来創造プラン・15戦略の着実な推進

- 1 人材育成戦略
「文化と知」の創造拠点整備構想策定/子ども総合科学館展示リニューアル(令5~7)/足利高校新校舎整備推進(~令6)/STEAM教育推進/教員業務支援員配置支援/部活動地域移行推進
- 2 産業成長戦略
「とちぎ職業人材カレッジ」WEB開設(令5.夏)/戦略3産業×未来3技術推進/タイ・ベトナム経済交流促進/とちぎの星の商品開発・販路開拓/とちあいか生産拡大支援/林業大学校整備推進(令6.4月開校)
- 3 健康長寿・共生戦略
ヤングケアラーへの包括的な支援/外国人介護人材受入強化/女性の理工系分野への進路選択促進/経営者対象女性活躍推進トップセミナー/特別支援学校医療的ケア実施体制強化
- 4 安全・安心戦略
新防災教育施設基本計画策定/盛土規制法の区域指定に向けた調査/河川堆積土除去による災害の未然防止/県立学校など公共施設長寿命化/災害に強い社会資本の整備促進/交通安全施設整備推進
- 5 地域・環境戦略
女性向け移住体験ツアー/県庁舎周辺整備検討/県営最終処分場整備推進(令5.9月開業)/Park-PFI導入/無人運転移動サービス実証実験/シカ・イノシシ捕獲対策/グリーンボンド発行(県債)